

# 閉塞性動脈硬化症（ASO）に対して、 LDL吸着療法を実施し改善を得られた一例

医療法人社団 茨腎会 太田ネフロクリニック  
技術部 ○平野三郎 山中祐治 二階堂剛史  
上野智敏 酒井伸一郎

## 《目的》

当院では平成24～28年の期間に7例のLDL吸着療法を実施した。

今回閉塞性動脈硬化症（ASO）が進展し、カテーテル治療（EVT）での血行再建が困難であった維持透析患者に対してLDL吸着療法を実施し、症状及び検査データの改善が得られたので報告する。

## 《対象》

80歳 男性 (透析歴9年)  
基礎疾患：腎硬化症

### ～透析条件～

透析時間：4時間 (3回/W)  
血液流量：200 ml/min  
透析膜：AN69膜

## 《期間》

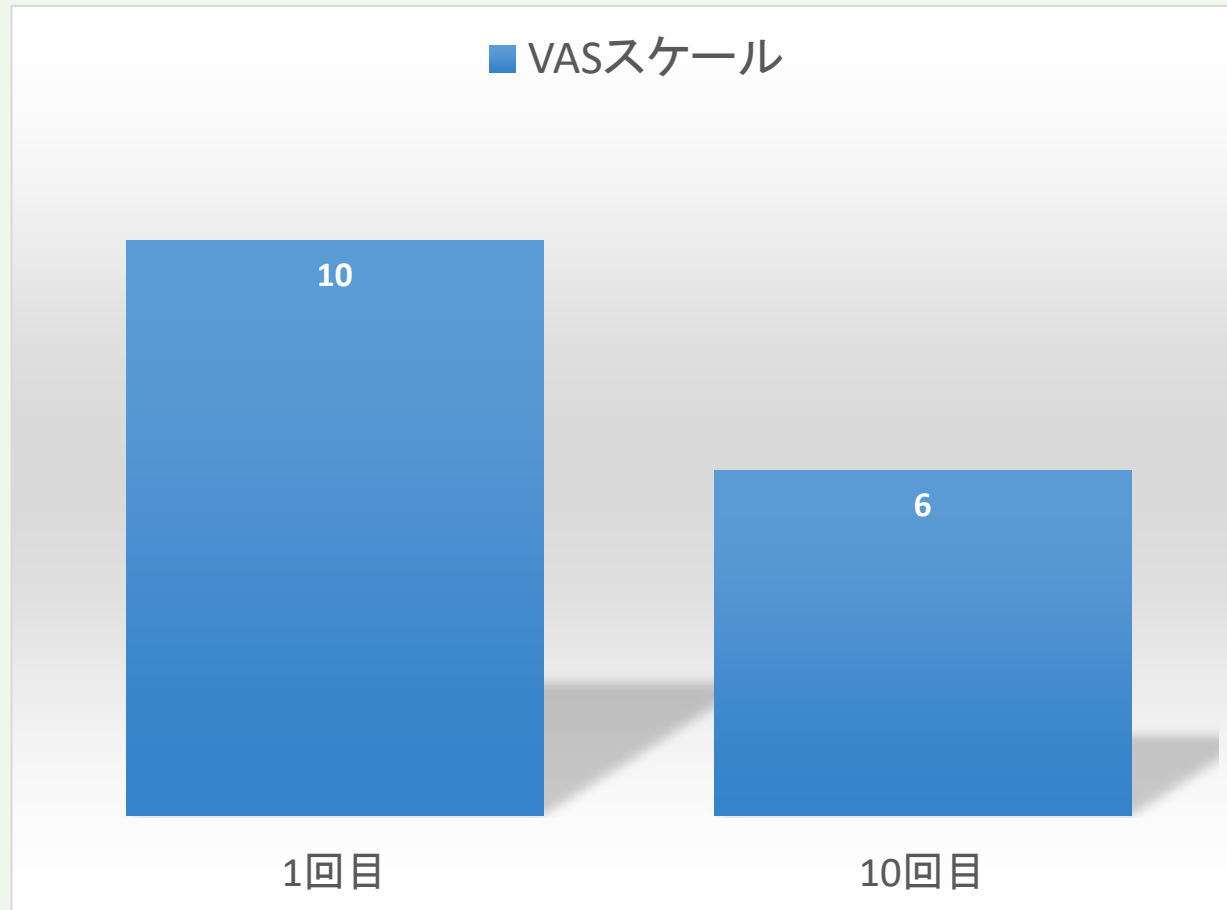
平成28年3月～平成28年5月

## 《方法》

- ・週1回透析後にLDL吸着療法を計10回施行した。  
(処理量：3, 5 L)  
下記項目を1回目と10回目で比較検討した。

- ①VASスケール
- ②皮膚所見の比較検討
- ③皮膚組織灌流圧 (SPP)
- ④前後採血 (LDL-C、CRP)

# 《結果①》

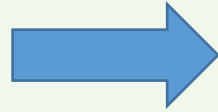


L D L 吸着療法を施行した前後で、左下肢第1趾・第2趾の疼痛はVASスケールにおいて10→6となり冷感も改善した。

## 《結果②》



LDL吸着療法 1回目  
左下肢第1趾付け根に水泡形成



LDL吸着療法 10回目  
浸出液なし

足趾ならびに前腕の視触診では、色調の改善と皮膚温の上昇を感じた。

LDL吸着療法 1回目



浸出液少量あり  
白色肉芽形成みられる

LDL吸着療法 5回目



白色肉芽少なくなる  
良性肉芽増加傾向

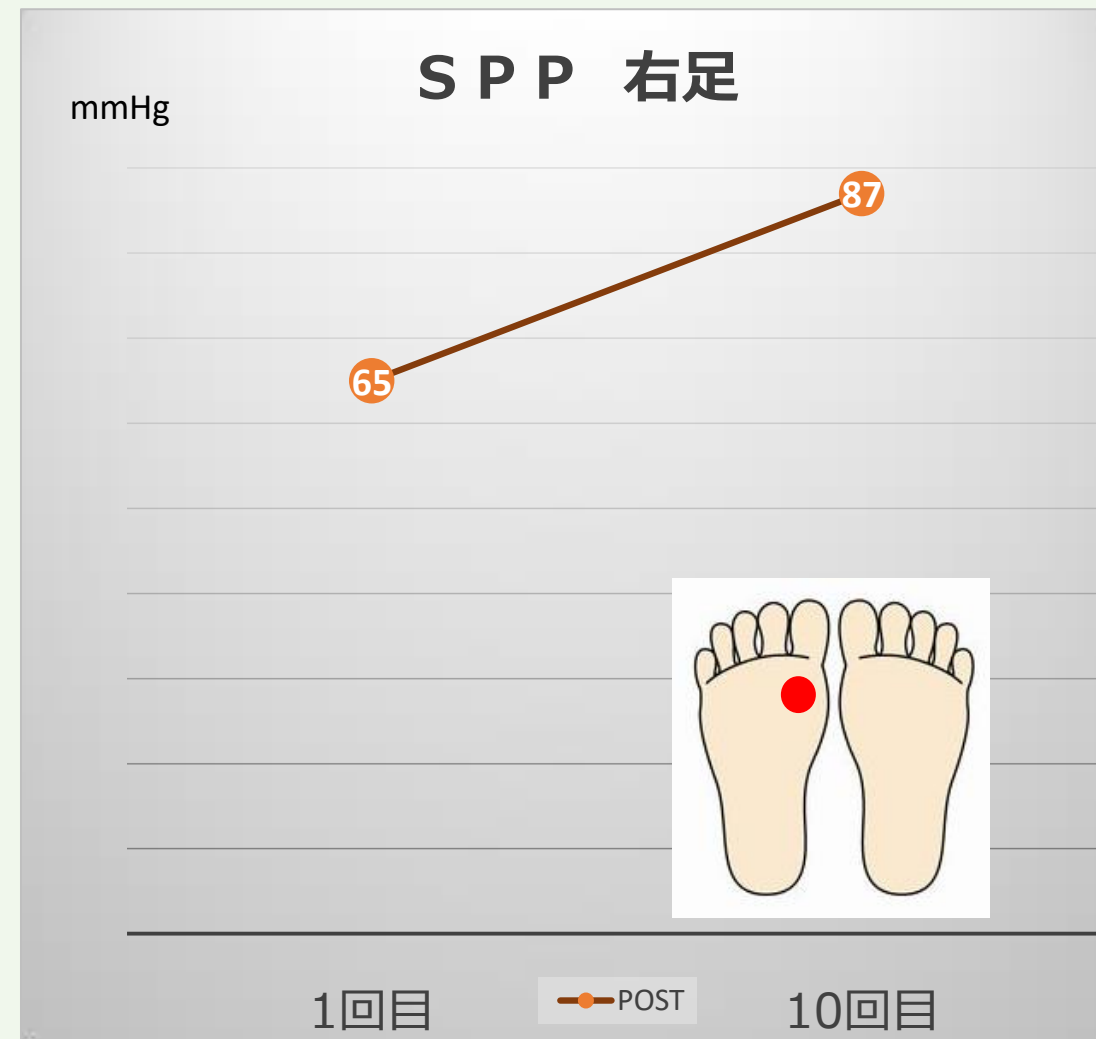
LDL吸着療法 10回目



白色肉芽消失  
良性肉芽のみとなる

\*この間、創感染を防ぐ目的でフットケアは継続した。

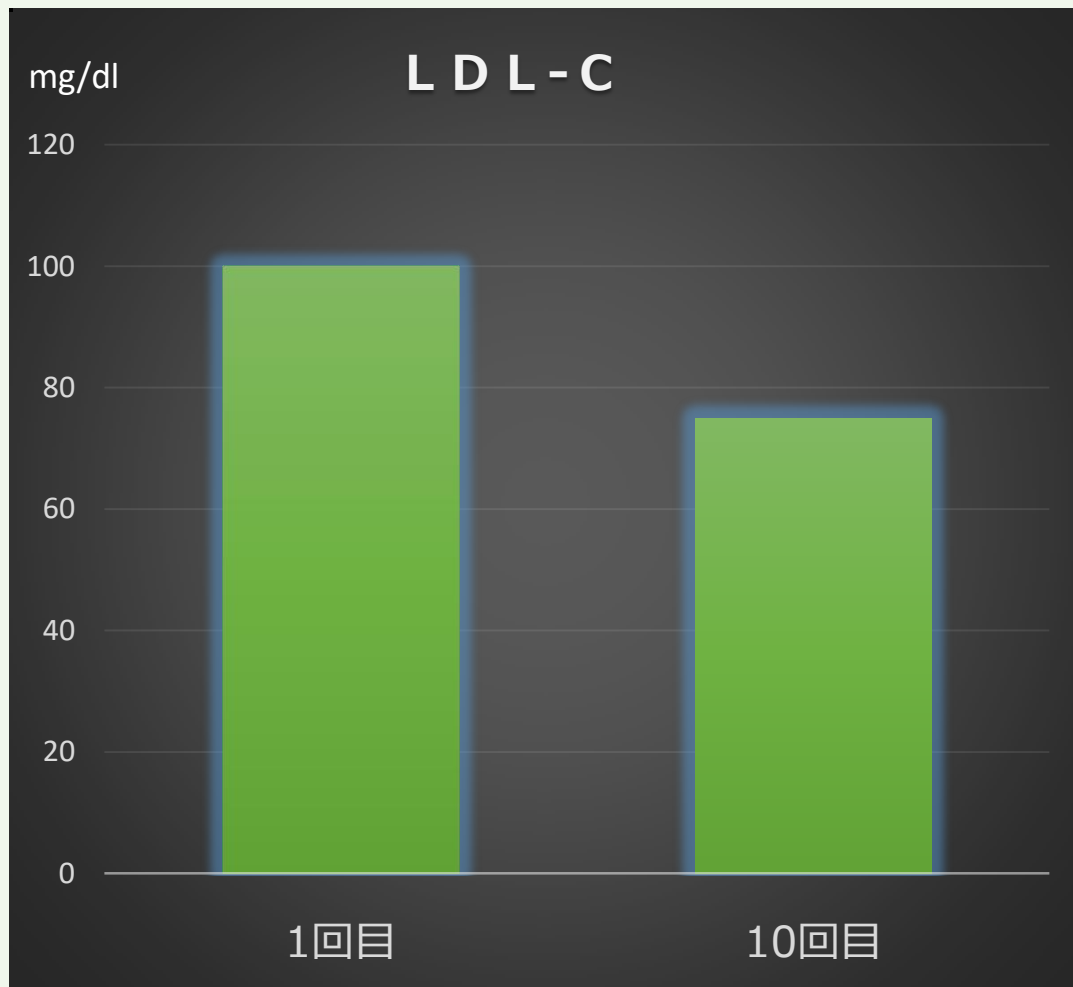
# 《結果③》



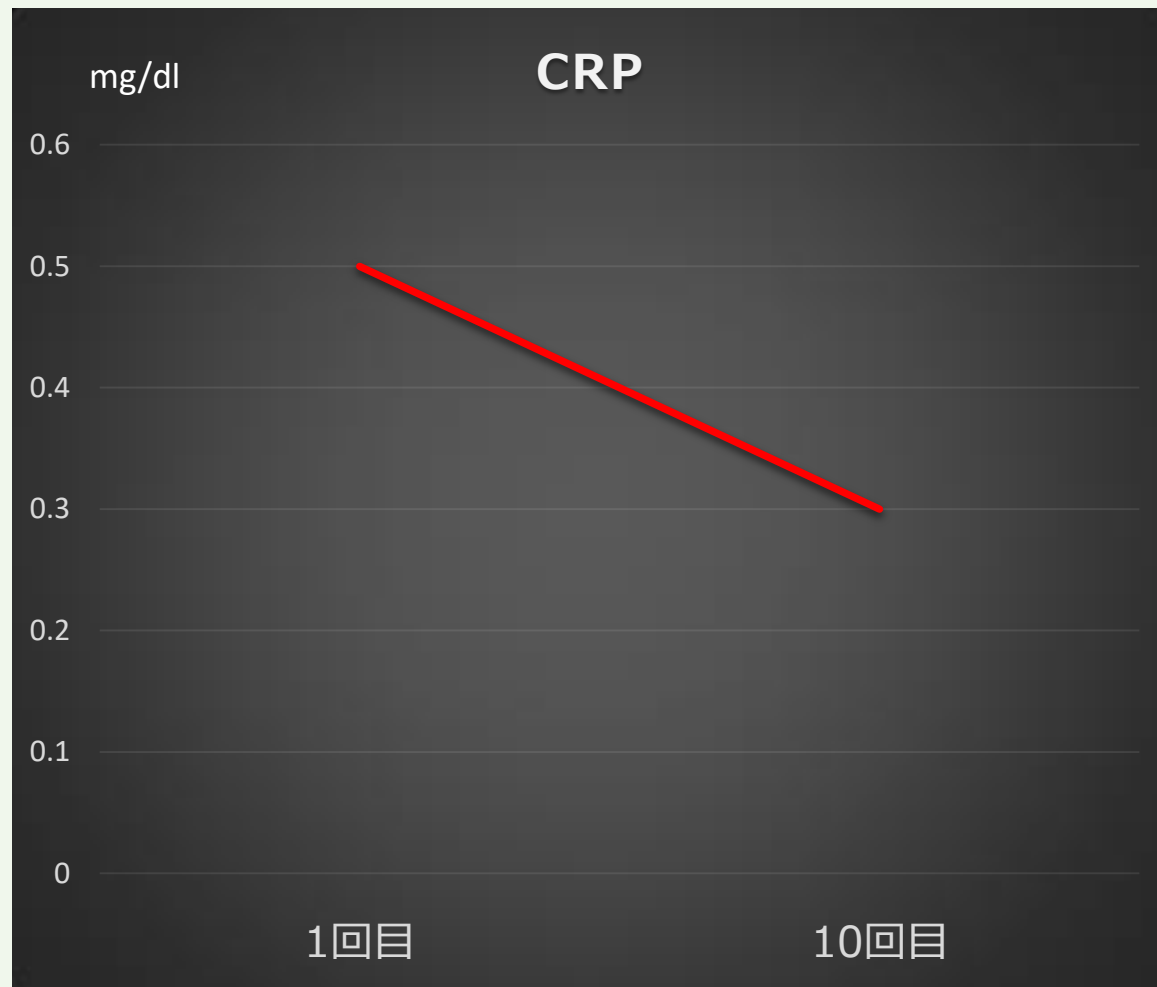
両下肢（足底外側）にてSPPの値が有意に上昇した。



# 《結果④》



約25%の減少



0.5 → 0.3 mg/dlに低下

## 《考察》

- 補助療法としてのL D L 吸着療法が、2か月間の短期的な病変の改善に有用な可能性が示唆された。
- L D L 吸着療法と併せてフットケア、栄養指導などの総括的な取り組みが必要であると感じ、そのうえで反復的なL D L 吸着療法の実施が長期的な予後改善、悪化予防、Q O L に寄与できるものと考ええる。

# 茨城人工透析談話会

## C O I 開示

筆頭発表者名：平野三郎

演題発表に関連し、開示すべきC O I 関係にある企業などはありません